

ドリーム長崎準V



準優勝したドリーム長崎

全国シニア古希ソフトボール

ソフトボールの第27回全国シニア古希大会は9月24〜26日、諫早市なごみの里運動公園などで行われ、68歳以上の選手たちが日本一へ熱戦を展開した。県勢はドリーム長崎が準優勝と健闘した。51チームがトーナメントで競った。10チームが出場した県勢は長崎シニア、時津北シニア、長崎呑長も3回戦まで進出。3回戦と準々決勝を勝ち進んだドリーム長崎は、準決勝で2-5の五回に一挙5点を奪ってアルテック(高知)に逆転勝ちした。SC熊本との決勝は一回に先制したものの

1-3で惜敗した。

(石田慶介)

県勢成績

▽1回戦 徳島すだち8-3佐世保シニア

多良見シニア8-3松江アイース

ア ト島根

長崎呑長 6-1福岡

佐世保はま4-0新居浜セブ

ナす テイ

▽2回戦 長崎シニア5-0翔龍ク

ドリーム長7-0今治しまな

崎 み(愛媛)

アルテック8-4多良見シ

(高知) ア

大牟田レシ4-0大村互寿会

エント

(福岡) 時津北シニア8-0福岡東混成

ア 長崎呑長 6-0佐賀業臨

岡山もまた3-0佐世保はま

ろう ナす

SC熊本 2-0長与シニア

福岡早良ク11-5諫早不知火

▽3回戦 金光・旭ク2-1長崎シニア

(岡山)

ドリーム長7-0ウェルネス

崎 都城

高知シニア5-3時津北シ

ア (宮崎)

岡山もまた8-0長崎呑長

ろう

▽準々決勝

ドリーム長6-1金光・旭ク

崎

▽準決勝

ドリーム長7-5アルテック

崎

▽決勝

SC熊本 3-1ドリーム長

崎

シニア審判員も奮闘

生涯スポーツ支える



80歳を超えても毎週のように審判を続けている朝長さん(右)と高橋さん
—諫早市なごみの里運動公園

○:70、80代を中心に投手はファーストピッチ、打者も年齢を感じさせないスイングで競った中、シニア審判員たちも奮闘した。最高齢で間もなく84歳になる朝長幸太郎さん、82歳を迎える高橋國弘さんも口焼けした腕を掲げてシャツジ。今回に限らず、小学生から中高生、社会人までの各種大会を裏方として支えている。ともに仕事と両立して約35年審判を続けてきた。今後でもできるだけ協力していきたい」と意気込みつつ「若い人が増えてきてくれれば即引退です」と後継者にも期待を寄せている。(石田慶介)

努力する朝長さんは「とにかく何事もなくプレーしてもらえれば」と穏やかな笑みを浮かべ、高橋さんは「試合中、子どもたちから言われる、ありがとごさしました、がうれしいね」。

生涯スポーツで長崎県は全国でも競技人口が多い一方、審判員の高齢化は懸案の一つ。2人は「仲間づくりの場と思っ